

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 金山 泰介

研究課題	①サイバー犯罪被害実態及び犯罪の転移に関する研究 ②日本におけるCriminal Justice教育体系の構築に関する研究	
報告の概要	研究目的及び研究概要	①近年の刑法犯の減少傾向に対し、サイバー犯罪は増加傾向にあるもののその実態は、統計的な問題等から不透明である。そこで、外部研究資金により行ったインターネット経由のアンケート調査結果を分析、論文化した。また、国内外の学会でその内容の一部を発表した。 ②Criminal Justice教育とは、欧米で警察官等の法執行官志望者に必要な諸科学を教育するもので、米国では盛んに行われている。しかるに我が国では、法執行官に求められる知識、技能を具体的に教育する大学はなかった。この度、本学部が開設され、我が国におけるCriminal Justice教育の先駆けを切ったところである。このCriminal Justice教育の体系を構築を目指し、危機管理学研究所の研究会としてクリミナルジャスティス教育研究会を運営している。
	研究成果	①サイバー関係では、上記発表を行ったほか、下記論文を発表した。 ②クリミナルジャスティス関係では、クリミナルジャスティス研究会の第2回会合で米国ウェスタンオレゴン大学の崎山准教授を招き、「米国のクリミナルジャスティス教育について」と題する講演を行った。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	①論文 金山泰介 「サイバー犯罪及び詐欺被害の実態と対策について～2017年犯罪被害実態調査結果から」 警察政策第21巻181～214頁
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	①学会発表 Taisuke Kanayama "Decrease in Police recoded crimes and crime displacement pact of Cybercrime in Japan"10th Asian Criminological Society Conference June 26 2018 (Malaysia) ②学会発表 金山泰介 「サイバー詐欺をいつまで放置しておくのか」情報ネットワーク法学会第18回研究大会個別報告 2018年12月9日
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	社会貢献活動 金山泰介 警察政策学会理事(機関誌担当)